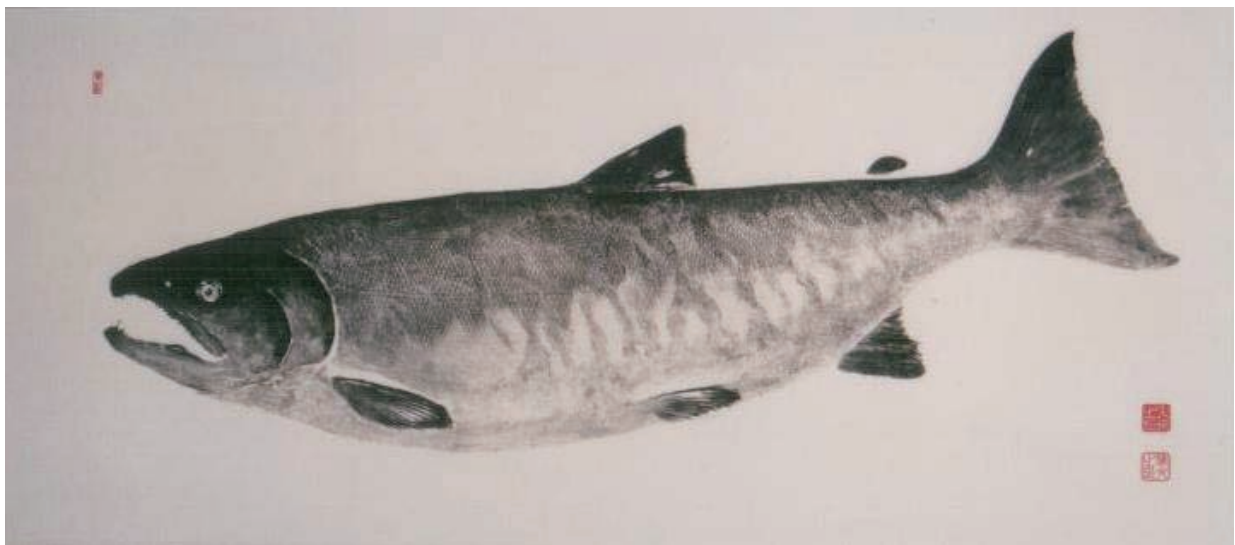


SALMON 情報

第4号

2010年3月

- サケの来遊数変動
- 2009年夏季の北太平洋におけるサケ資源と海洋環境
- 耳石温度標識放流魚から得られた知見 その2（放流時期とサイズの検討）
- サケ卵のふ化率を向上するための採卵・採精及び受精に関する調査
- 旭川でサケ稚魚50万尾を放流－石狩川本流サケ天然産卵資源回復試験－
- サケ科魚類のプロファイル No.8 ブラウントラウト
- 北太平洋と日本におけるさけます類の資源と増殖
ほか



(図版提供：大場雅文氏)

編集 さけますセンター



独立行政法人
水産総合研究センター

目次

サケの来遊数変動	3
2009年夏季の北太平洋におけるサケ資源と海洋環境	6
三陸沿岸域におけるサケ稚幼魚の成長、食性、およびニシン仔稚魚との生態的關係	9
耳石温度標識放流魚から得られた知見 その2（放流時期とサイズの検討）	12
サケ卵のふ化率を向上するための採卵・採精及び受精に関する調査	15
さけます関係研究開発等推進特別部会	17
2009年北太平洋溯河性魚類委員会年次会議の概要	20
旭川でサケ稚魚50万尾を放流ー石狩川本流サケ天然産卵資源回復試験ー	22
帯広事業所が取り組む業務の紹介ー幼稚魚生息環境モニタリングー	25
サケ科魚類のプロファイル No.8 ブラウントラウト	27
北太平洋と日本におけるさけます類の資源と増殖	30
さけます展示施設のページ イヨボヤ会館	32



mini column

表紙のサケの魚拓は、北海道札幌市在住の魚拓作家・大場雅文さんの作品です。古来より伝わる『魚拓』の製作を通じ、北海道の雄大な自然と魚の存在への深い感謝の精神を、次世代へも引き継いでいきたいとの願いを込めて活動されています。

サケは先人から受け継いできた貴重な財産である自然の恵みの象徴にもなっています。飽食の時代と呼ばれて久しい昨今、ともしれば忘れてしまいがちですが、自然の恵みへの感謝の気持ちを、いつまでも持ち続けていきたいと思ひます。

